

山の現場では、コンバメ測定の結果をもとに基本設計を行い、詳細設計等の必要に応じてトランジット測量をすることが多いです。最近ではGPS(全球測位システム)やUAV(無人航空機/ドローン)を使用した測量も増えています。少数で簡易に、比較的正確に測量を行えるトランジットは、依然として森林関係の調査で重要な役割を果たしています。



斜面の傾斜を測るために、水平分度器を取り置き、磁石羅針盤を水平に設置し、水平分度器の目盛りを調整して、斜面の傾斜を測定します。

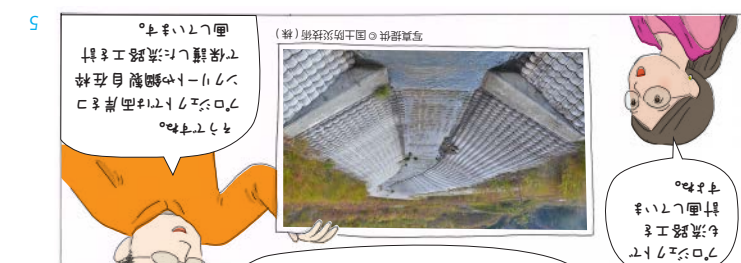
コンバメ測定の測定は、日本の森林の現場でよく用いられる測量機器で、巻尺と合わせてコンバメ測定に使用されます。コンバメは、望遠鏡と本体のコンバメ測定器と内角を備えており、方位角や傾斜角の測定ができます。また、機種によって距離の測定や内角測定もできます。



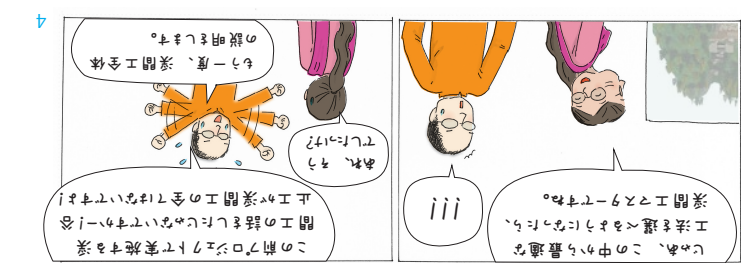
5. 溪間工の種類



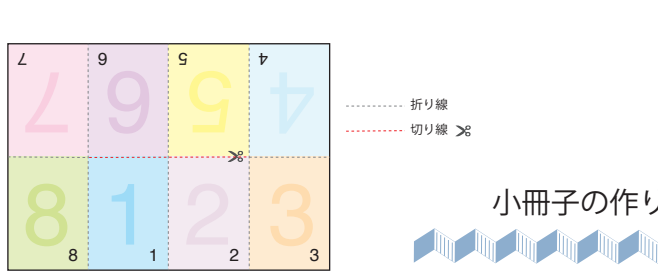
5. 溪間工の種類



5. 溪間工の種類

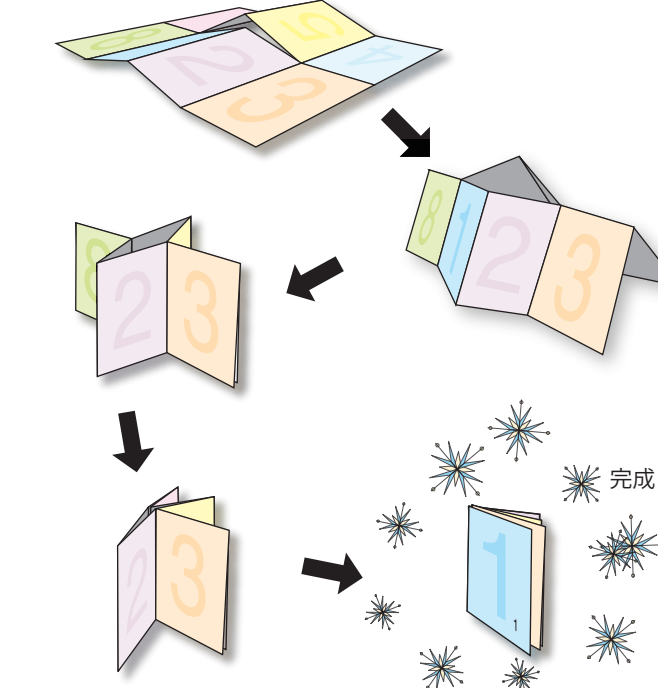


5. 溪間工の種類



小冊子の作り方

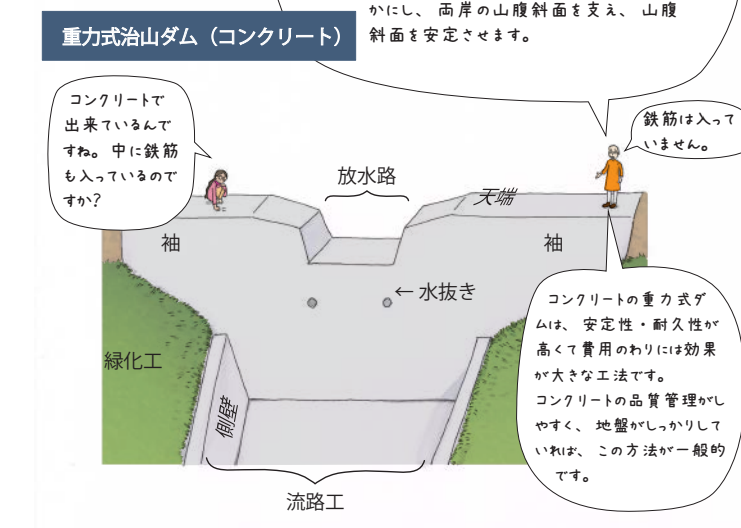
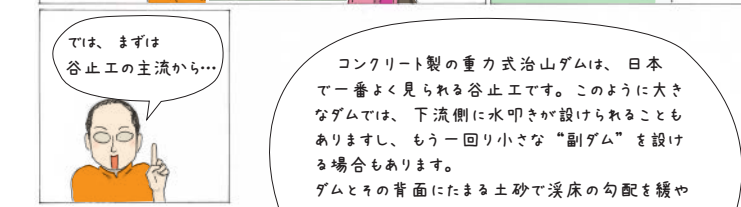
切り取り線をカットして、図のように折って小冊子にしてみよう!



5. 溪間工の種類



5. 溪間工の種類



5. 溪間工の種類

